

2011 年度 極地雪水分科会 プログラム

日時：9月19日（月）18:15-20:00

場所：ハイブ長岡（長岡市産業交流会館）C会場

参加者：39名

議事録作成：杉山慎

1. 観測実施報告

・第52次南極観測夏隊報告

本山会員より、第52次南極観測隊の夏季ドーム基地旅行、観測に関して、別添スライドを使った報告がなされた。

・NEEM（グリーンランド深層氷床コア掘削計画）2011年活動報告

東会員より、2011年夏におけるNEEM計画の活動が別添スライドによって報告がなされた。

2. 観測計画報告

・第53次南極観測・雪氷部門実施計画報告

杉山会員より、53次南極観測隊の夏季観測計画（海水、海洋、氷河掘削など）について別添スライドを使って紹介がなされた。

・科研費プロジェクト紹介及びグリーンランド予備調査報告

青木会員よりグリーンランド氷床に関する科研費プロジェクトについて説明があり、2011年7-8月の現地調査について紹介がなされた。

3. WG 報告

・南極観測将来計画検討WG報告

WG代表の本山会員から、別添スライドを用いて第8期南極観測計画（52-57次観測隊）の概要について説明があり、その後半（55-57次隊）の観測計画について今後WGによる検討を実施する旨の協力依頼がなされた。

・極地雪氷用語解説WG報告-雪氷辞典」の改訂について

WG代表の亀田会員から雪氷辞典の改訂について状況の説明があり、今後の協力が要請された。版権の問題から、分科会で改訂を進めている極地雪氷用語解説の転載が許されないことなどが説明された。

4. 事業報告

・国際対応幹事報告

植竹国際対応幹事から、海外の極域氷コア掘削の情報、国際学会や集会の状況、国際機関の動向について、別添のスライドを用いた報告がなされた。

・ホームページ対応幹事報告

小嶋HP対応幹事から、HPの更新状況、更新マニュアルなどについて、別添のスライドを用いて報告がなされた。

・会計報告

杉山幹事長から2010年度の会計および事業報告がなされた。また2011年度の予算と事業計画について報告がなされた。内容については別添資料を参照されたい。また、分科会の運営（特にHPの更新作業への謝金）のために、会員からの寄付の依頼がなされた。

>> 総会後、26名から総額11,500円の寄付がなされた。

5. その他

・北極圏科学観測ディレクターの紹介

榎本会長から、北極圏科学観測ディレクターについて紹介がなされた。

・北極雪氷検討WGの提案

杉浦幹事から、北極雪氷検討WGの設立について提案がなされて議論が行われた。その設立には賛同が得られたものの、雪氷学会学術委員会への確認が必要との意見が出された。結果として、学術委員会に相談したうえで、杉浦幹事が具体的な内容を会員に提案することで、北極雪氷検討WGの設立を進めることが合意した。

>> その後学術委員会での議論がなされ、WG設立は問題ないことが確認されるとともに、学術委員会の役割を考慮したうえでその活動内容を検討することが要請された。

・Workshop on Blowing Snow Research in the Antarcticaの案内

西村会員より、上記のワークショップについて開催案内がなされた（詳細は別紙）。

・会員ML、HPなど

亀田前幹事長より、MLに登録されていない会員は連絡する旨アナウンスがあり（杉山まで）、HPに総会の資料を掲載することの確認がなされた。

以上